

ダウン症の女流書家 金澤翔子書展 共に生きる 開会式のご案内

長崎歴史文化博物館では、2017年12月9日(土)～2018年1月14日(日)まで「**金澤翔子書展**」を開催いたします。つきましては、報道関係者向けの内覧会と開会式を開催しますので、ぜひご取材・情報掲載のほど宜しくお願いいたします。

プレス内覧会

- 開催日： **2017年12月8日(金)**
- 時 間： **14:00～**
- 集合場所： 3階ロビー

開会式

- 開催日： **2017年12月8日(金)**
- 時 間： **15:00～**(受付 14:30～)
- 会 場： 3階ロビー

※開会式終了後、招待客向けの内覧会をおこないます。そこでのご取材も可能です。



【ダウン症の女流書家 金澤翔子書展 共に生きる】開催概要

会 期	2017年12月9日(土)～2018年1月14日(日)
会 場	3階企画展示室
開 場 時 間	10:00～18:00(最終入館17:30)
休 館 日	2017年12月18日(月)
観 覧 料	大人1,200円(前売・団体1,000円)中高生700円(前売・団体500円)小学生以下無料 ※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳持参者は当日料金の半額 ※前売券の販売は12月8日(金)まで
主 催	長崎歴史文化博物館、KTNテレビ長崎
特 別 協 賛	アダチ産業株式会社
後 援	長崎県、長崎県教育委員会、長崎市、長崎市教育委員会、長崎県立長崎図書館、長崎市立図書館、長崎新聞社、西日本新聞社、朝日新聞社、日本経済新聞社長崎支局、毎日新聞社、読売新聞西部本社、共同通信社長崎支局、長崎ケーブルメディア、エフエム長崎、長崎商工会議所、長崎県タクシー協会、長崎県観光連盟、長崎国際観光コンベンション協会、長崎市書作家協会、長崎県社会福祉協議会、長崎市社会福祉協議会、長崎県看護協会、染色体障害児・者を支える会「バンビの会」

ダウン症の女流書家 金澤翔子書展 共に生きる

1985年に生まれ、ダウン症と診断された金澤翔子さんは、5歳より書の道を歩みはじめ、二十歳で開いた個展をきっかけに、その書は社会に衝撃を与えました。以来、全国300か所以上で個展や奉納揮毫を開催。その中で「風神雷神」、NHK大河ドラマ「平清盛」題字など数々の代表作が生まれました。本展では、見る人の心を揺さぶらずにはおかない彼女の書をご紹介します。

展示作品



「共に生きる」

東日本大震災の年、翔子さんもお見舞いになりました。必死な思いで相対しておりました。その中で翔子さんの出来ることは、このような「共に生きる」を書くだけかもしれません。翔子さんは、字を書くことによって、皆さんの無事を祈っていました。／柳田泰山(泰書会)



「風神雷神」

400年も前に描かれた俵屋宗達の国宝「風神雷神」と翔子の風神雷神の書の構図が一致している。翔子は宗達のその絵を見たことはない。もし見たことがあるとしてもそれを真似ることは到底できない。もし真似たのであればあの勢いはでない。全くの偶然である。／金澤泰子

関連イベント

金澤翔子 席上揮毫会 & 金澤泰子 講演会



日時： 2017年12月17日(日)13:30～

2018年1月1日(月祝)13:30～

会場： 揮毫会／ 1階エントランスホール

講演会／ 1階ホール

※揮毫会終了後に開催・定員140名

講演テーマ：《12/17》ダウン症の子と共に

《1/1》娘・翔子と共に生きて

料金： 揮毫会／ 無料

講演会／ 無料ですが「金澤翔子書展」観覧券が必要

※観覧券をお持ちの方を対象に当日10:00より整理券を配布

